

## 泰山の古代遺跡探訪記；エッセイ集

### 火星の人面岩について

Copyright(C)1998-Taikoh Yamaguchi Never download please!

1998年4月6日にNASA（米航空宇宙局）から、マーズグローバルサーベイヤーという火星探査機で撮影した最新の、いわゆる「人面岩」の写真が公表されました。National Space Science Data Centerは次のように答えています。

-NASA has no official opinion on what the so-called "face" on Mars is.

Most planetary scientists agree that, although there is insufficient data to make a definitive analysis of the feature, it is highly unlikely to be anything other than a combination of a natural feature and unusual lighting conditions. -

NASAは火星上のいわゆる「顔」について何らの公式見解も持たない。殆どの惑星科学者は、その対象物に対する断定的な分析に足る十分なデータは持ってはいないが、自然の地形と特殊な光の条件以上の何者でもない可能性が高いという見解に賛成している。

これに対し、日本の新聞やテレビでは、「単なるでこぼこの地形でしかなかった。」と断定的に切り捨ててしまいました。

NASAは見解を表明していません。それが人面であるとも、そうでない

とも言っていません。アメリカのローカル番組のローラリー・ショーでは、それでも人面に見えると思った人が現在、220人中56%でまさっています。

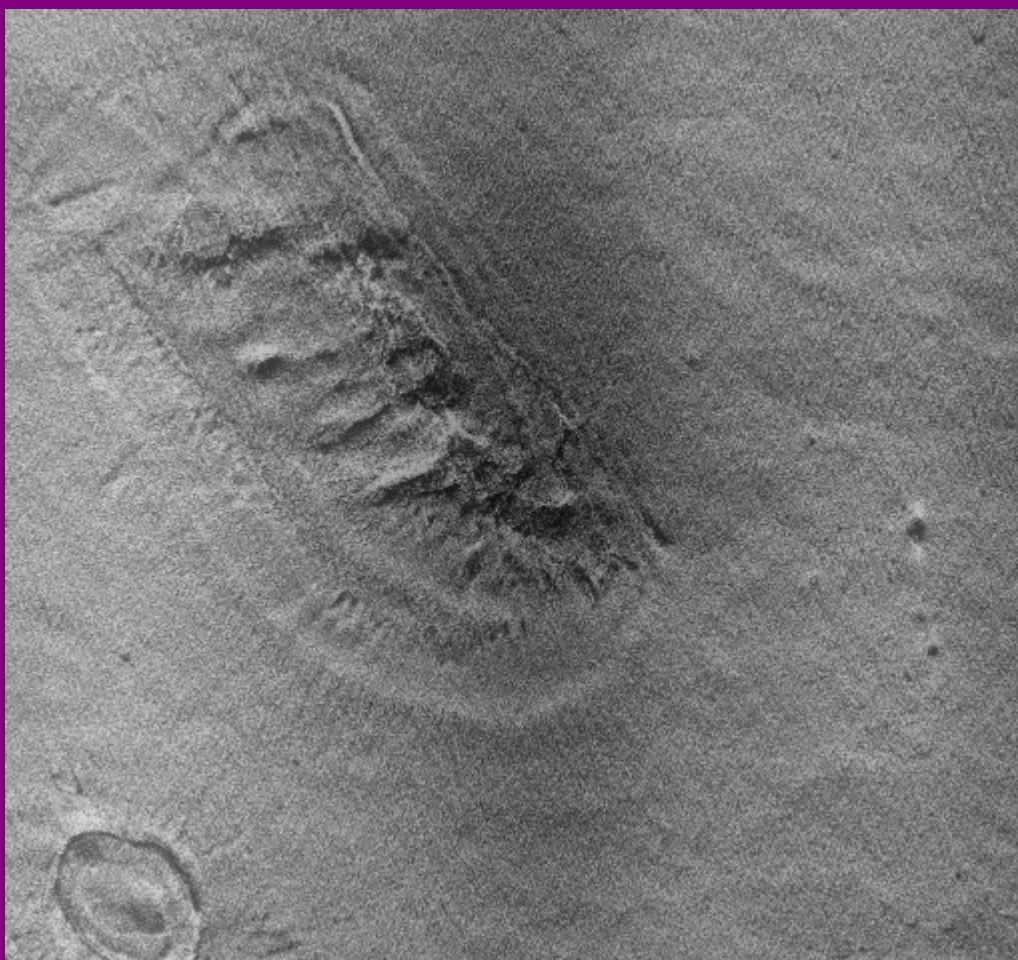
少なくともせつかくすばらしい写真が送られてきたのに、精査もせずに、議論もせずに断定的に「単なるでこぼこ地形」と言い切る、日本のマスコミはレベルが低いですね。というわけで、NASAの写真を紹介します。（尚写真はフリーです。）皆さんがご自身で判断されますように。

尚、「人面岩」があると言われるのはシドニア地区で、1976年の被写体と1998年の被写体は同じ物ですが、撮影角度と光源と解像度に差があります。最初の写真は、NASAが提供している写真、その下は、1976年の条件に近づけたネガです。

シドニア地区にはこのほかピラミッド群がありますが、私はこの写真を2日ほど見続け、ある考えに至りました。それは「人面岩」ではなく、「獅子岩」です。しかもそれが長い年月のうちに風化され始めているということです。門番としての「獅子」と神殿としてのピラミッドという図式ならば非常に得心がいきます。エジプトのスフィンクスも現在のアンバランスな人頭の前は、「獅子面」であったとも言われています。

沖縄の海底遺跡と同様に、火星の（泰山流^o^）「獅子岩」は永続的にウォッチングしていきましょう。日本のヒラミット周辺には「獅子岩」と呼ばれる巨石が沢山あります。





[Back to Menu](#) ----- [Top](#)

